

ひろさき

青森県弘前市立 **西小学校**

児童のコミュニケーションを活発に ～学校で、家庭で、eライブラリが幅広く活躍～

帯時間に週2回、誰もがeライブラリにふれる「ドリルタイム」を設け、先生、児童ともにeライブラリに慣れていったという西小学校。先生、そして児童からも、eライブラリの良いところを教えてくださいました。

リトライして思考をアップデート

5年 小林先生



算数 5年：小数のかけ算

4.36×7.5の計算のしかたを考えよう

「eライブラリで問題演習を行うと、待ち時間なく各自で○×判定ができます。さらに**解答解説を読んで『何が違うか』を把握**し、解き直しができる『リトライ』機能は、思考のアップデートを大事にしたい私の授業スタイルと合っています。」と担任の小林先生。

この日の授業では、クラスの全員で共有した計算のしかたに注意しながら、それぞれドリルに取り組んでいました。

▲ 難しい問題にも挑戦。間違えても解答解説を読んでリトライし、100点を目指します。

授業の流れ



意見交換



計算のしかたを共有



eライブラリで演習

グループで各自の考えを伝え合いながら「合ってる?」「違うね。おかしいなあ?」と、さらに考え、修正し、思考をアップデートしていきます。授業の中盤には、小数のかけ算を筆算で計算するときの注意点(今日のめあて)に、全員がたどり着きました。

インタビュー

AI型ドリルの特長とメリットを伝え、保護者の理解を得る

eライブラリは、**児童が興味を持ったその場で**、とことん学びを進められるところが良く、これまで教材準備で児童に待ってもらうことがあった、**教員のもどかしさが解消**されます。この特長を実感してほしいと考え「ドリルタイム」から始めて、今では多くの教員が授業でも活用しています。

また、**夏休み中の課題を全てeライブラリに**しました。家庭で利用するにあたって保護者説明会を開き、オフラインでも利用できること、また、個に応じた学習ができるなどの、AI型ドリルの特長とメリットを伝えました。反応は良く、保護者の理解と協力を得られました。

校長
齋藤 祥子 先生



▲ 解説教材には地図が豊富で、提示教材として活躍。

社会 6年：武士の世の中へ

この日の授業は、児童が前回までに調べ、発表した内容をふりかえりながら、考えを深め、まとめていきます。発表資料、教科書などを読み返しなが、児童の自由な意見交換が進みます。

同時に、担任の山本先生は「本時で押さえておきたいこと」を伝えるため、板書とeライブラリの「解説教材」を併用し、ポイントを提示していました。

教え合いが生まれるドリルの時間



▲ 分からないときは教科書を読み、諦めずにチャレンジ。

まとめの後は、eライブラリのドリルを始めます。ここでも先生は「押さえておきたいこと」を含むドリルをあらかじめ選び、「教材指定学習」機能で出題します。

ドリルに取り組む間、児童からは「100点だった!」「もう一回やりたい!」と次々に嬉しそうながあがり、先生も「いいね!」と返します。教室では児童同士の教え合いも、自然と生まれているそうです。

5年、6年の児童にインタビュー! 「eライブラリの良いところは?」

- 解説教材をたくさん見られて分かりやすいです。
- 家庭学習でも変わらずに使えるところ です。
- ヒントをたくさん使って解いていけるし、間違えても解答解説を見られます。
- 歴史が好きです。中学校で勉強する内容も見られて楽しいです。

インタビュー 進捗の確認、コミュニケーションをひとつの画面で

eライブラリのドリルを使うと、待ち時間なく結果が返ってくるので、児童は飽きずに取り組み、意欲の向上、理解度の向上に繋がります。

課題の進捗を見られることから夏休み中にも活躍しました。「学習メモ」でドリルに書き残した思考の過程は、ノートなどの回収を待たず、すぐに見られます。また、がんばっているか、ペースが落ちていないか、など、**学校から離れている児童の「今」の様子が分かります。**

さらに「コミュニケーション」機能で、励ます言葉を送ってあげられます。

これらが「eライブラリ先生」の画面ひとつで完結し、とてもシンプルで使いやすいです。

※学校の情報は取材時（2024年度）のものです。



6年担任 研修主任
山本 真美 先生

5年担任
小林 雅人 先生